



第1回 同志社国際ピアノ講習会

受講生募集要項

Doshisha International Piano Seminar



- ♪ 期間 2026年2月23日(月・祝)～3月2日(月)
- ♪ 会場 同志社女子大学京田辺キャンパス 頌啓館
- ♪ 応募期間 2026年1月4日(日)まで



同志社女子大学
1876-2026
創立150周年

第1回 同志社国際ピアノ講習会 概要

期間 2026年2月23日(月・祝)～3月2日(月)

会場 同志社女子大学京田辺キャンパス 頌啓館(京都府京田辺市興戸)
(JR 学研都市線『同志社前』駅下車 徒歩3分・近鉄京都線『興戸』駅下車 徒歩約10分)

対象 高等学校1年生以上の音楽学生、演奏家、ピアノ指導者。性別は問わない。

講師 フレデリック・アゲシー(特別講師)
海老 彰子(特別講師)
河江 優(同志社女子大学音楽学科教授)
ラフィ・ベサリアン(同志社女子大学音楽学科特任教授)

内容 特別講師クラス(定員12名)

フレデリック・アゲシーと海老彰子のレッスンを各1回、計2回受講する。

一般クラス(定員12名)

河江優、ラフィ・ベサリアンの2名のレッスンを1回～2回受講する。

講師と回数は受講生の希望により設定が可能。

※レッスンは1回60分、全てマンツーマンで行われます。

※特別講師クラスの受講生はお互いのレッスンを聴講できます。

※一般クラスの受講生は特別クラスのレッスンを聴講できます。

※特別講師クラスのレッスンにはスタインウェイ D-274 を使用します。

受講料 特別講師クラス: 55,000 円 + フランス語通訳料: 3,000 円
一般クラス: レッスン1回につき 10,000 円

※同志社女子大学音楽学科の在学学生、卒業生、同志社内高校生徒、教育連携校生徒は
特別講師クラス受講の場合、5,000 円引となります。

※受講料には関連行事(リサイタル、コンサート)への入場料、練習室使用料を含みます。

日程	フレデリック・アゲシー	2月23日(月・祝)～2月26日(木)
	海老 彰子	2月24日(火)～2月26日(木)
	河江 優	2月24日(火)～3月2日(月)
	ラフィ・ベサリアン	2月24日(火)～3月2日(月)

※レッスン日時は受講確定後に通知します。

フレデリック・アゲシー (Frédéric Aguessy)

12 歳でパリ国立高等音楽院に入学、イヴオンヌ・ルフェビュール、モニク・ド・ラ・ブルシヨルリ、ピエール・バルビゼ、ドミニク・メルレ、ジュヌヴィエーヴ・ジョワらに師事。ピアノ、室内楽、対位法を一等賞で卒業。同時にパリ・ソルボンヌ大学で文学の学位も得る。

ジュネーブ、ナポリ、ブタペスト(リスト＝バルトーク)、サンタンデルの国際コンクールに入賞後、1979 年ロン・ティボー国際音楽コンクールで優勝。この優勝を機に国際的ピアニストとしての扉が開かれ、ロンドン、ニューヨーク、日本、南アメリカ、そしてヨーロッパ各地(ドイツ、スイス、イタリア、ポルトガル、スペイン、ポーランド、ハンガリー等)でリサイタル。パリ管弦楽団、トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団、フランス国立ロワール管弦楽団、モンテカルロフィルハーモニー管弦楽団、ブカレスト ジョルジュ・エネスコ管弦楽団など数々のオーケストラと共演。幅広いレパートリーを持ち、また彼の委嘱により作曲されたピアノ曲もある。(アンソニー・ジラルルのピアノのための練習曲、マックス・ピンシャルのピアノとオーケストラのための協奏曲など)

ディスコグラフィーとしては、ジャン・アランのピアノ作品、フランツ・リストの編曲とバラフレーズ、そしてアレクシス・ガルペリンとの共演によるエルネスト・ブロッホのヴァイオリンとピアノのためのソナタ、セドリック・ティベルギャンとの2台ピアノなど。シフラ財団とメニューイン財団から受賞。指揮にも深く関心を持ち、室内楽作品や合唱とオーケストラのための作品を指揮している。

後進の育成にも力を注ぎ、パリ国立高等音楽院やルーアン地方音楽院で 35 年間教鞭を執り、優秀なピアニストを多く輩出した。

海老 彰子 (Akiko Ebi)

パリと東京を拠点にグローバルに活躍する、本格実力派ピアニスト。バロックから現代音楽まで幅広いレパートリーを持ち、たおやかな日本人らしさを忘れない温かみのある人柄は、世界中の演奏家から厚い信頼を得ている。

東京藝術大学在学中に第 41 回日本音楽コンクール優勝後、フランス政府給費留学生として研鑽を積む。パリ国立高等音楽院最優秀首席卒業、同研究科修了。ロン＝ティボー国際コンクールで第 2 位グランプリと 4 種の特別賞を A. ルービンシュタイン氏等から受けるほか、ショパン国際コンクールの上位に入賞。日本ゴールドディスク大賞 2 回、エクソン・モービル音楽賞本賞等を受賞。フランス政府から文芸シュヴァリエ勲章、パリ名誉市民メダル、ポーランド政府からグロリア・アルティス勲章を授与される。2024 年に令和 6 年度文化庁長官表彰を受賞。

現在にいたるまで世界 38 개국で演奏活動を行う。N 響、読響、都響、ワルシャワ国立、フランス放送、モンテカルロ、アルゼンチン国立、英国、スロヴァキア、ソフィア国立等のオーケストラと共演。マルタ・アルゲリッチとの 2 台のピアノ・デュオ・コンサートは全欧州各国や日本でもテレビ放映され、大いに好評を博した。2022 年には日本でデュオ・リサイタルが実現、篤い友情で結ばれたふたりの共演は高い注目を集めた。シャンゼリゼ劇場、サル・プレイエル、ゲヴァントハウス、ベルリンフィル・フィルハーモニーザール、ウイグモアホール、サントリーホール等世界の主要ホールで演奏。後進の育成にも力を注ぎ、世界各国からマスタークラスの依頼も多い。第 8 回、第 9 回浜松国際ピアノコンクール審査委員長。ロン＝ティボー国際コンクール審査員。今秋に開催された第 19 回ショパン国際ピアノコンクールでも審査員を務めた。元日本大学芸術学部大学院教授。元東京芸術大学ピアノ科客員教授。日本ショパン協会会長。横浜市招待国際ピアノ演奏会企画委員長。

関連行事 3月1日(日)

14:30 本多・ルソー・まき レクチャーコンサート

「ブロードウッドピアノとその時代の作曲家たち」(仮題)

使用楽器: 本学所蔵 1814 年製ブロードウッド社スクエアピアノ

於: 頌啓館 K355

16:00 フレデリック・アゲシー ピアノリサイタル

於: 頌啓館ホール

3月2日(月)

16:00 特別講師クラス選抜受講生によるコンサート&修了証書授与式

於: 頌啓館ホール

本多・ルソー・まき (Maki Rousseau-Honda)

ピアノを故エディット・ピットー・アクセンフェルト女史に師事するために渡独、チェンバロやフォルテピアノなどの歴史的鍵盤楽器と出会う。フライブルク国立音楽大学大学院古楽器科、パリ国立高等音楽院フォルテピアノ科を卒業。ロバート・ヒル、パトリック・コーエンに師事。2004 年 Muzio Clementi 賞(イギリス)受賞。それを機にイギリスのフィンチコック楽器博物館、クラークコレクション、フランス・パリでジュヌ・タロン主催のコンサート、浜松楽器博物館や岡崎シビックホール等でレクチャーコンサートやリサイタルに招かれる。ピアニストとしては、2004 年よりルーアン地方音楽院にてピアノ伴奏講師を務める傍ら、ルーアンオペラ座の室内楽シリーズで演奏、定期的にフォルテピアノ・マスタークラスを開催。フランス人へ日本文化を紹介する数々のコンサート、また日仏国際交流を企画するなど幅広く活動している。

申込方法

オンライン受講申込フォームに必要事項を入力して送信してください。

<https://forms.gle/BUk2GyFV69MwP28y8>



オンライン受講申込フォーム

応募締切

2026 年 1 月 4 日(日)

※申込締め切り後、10 日以内に受講可否をフォームにご入力いただいたメールアドレス宛にご連絡します。応募者多数の場合は選考を行うことがあります。

※受講決定者には受講案内・受講料の振込方法についてお知らせします。受講料は 1 月 22 日(木)までに所定の口座にお振り込みください。

※いったん納入された受講料の返還はいたしません。ただし、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症(新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ等)罹患のため、受講をキャンセルする場合はこの限りではありません。

※受講料納入後の申込内容の変更は一切できません。

お問い合わせ 同志社女子大学学芸学部・文学研究科事務室(音楽学科)

〒610-0395 京都府京田辺市興戸

TEL.0774-65-8501

E-mail:ongaku-t@dwc.doshisha.ac.jp